

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立新今宮小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	西成区
学 校 名	大阪市立新今宮小学校
学 校 長 名	奥村 肇

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立新今宮小学校では、第6学年 31名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立新今宮小学校の結果概要

○国語科の平均正答率においては、大阪市平均を7ポイント下回った。「言葉の特徴や使い方に関する事項」の内容で11.7ポイント、「情報の扱いに関する事項」の内容で4.8ポイント、「書くこと」の内容で5.5ポイント、「読むこと」の内容で9.5ポイント、大阪市平均より低い結果となった。「話すこと・聞くこと」の内容では、大阪市平均より0.3ポイント高い結果となった。

○算数科の平均正答率においては、大阪市平均を10ポイント下回った。「数と計算」の内容では9.2ポイント、「図形」の内容では15ポイント、「測定」の内容では19.4ポイント、「変化と関係」の内容では17.7ポイント、「データの活用」の内容では4.4ポイント、大阪市平均より低い結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】平均正答率は、大阪市平均より7ポイント低い結果であった。朝の学習で視写や絵本の読み聞かせの活動に継続的に取り組み、国語力の向上に取り組んでいる。平均無回答率の割合が、昨年度に比べて改善されている。「言葉の特徴や使い方に関する事項」の内容で11.7ポイント、「読むこと」で9.5ポイント下回っており、言葉の知識の定着や文章を正確に読み取る力の向上が必要である。

【算数】平均正答率は、大阪市平均より10ポイント低い結果であった。特に「測定」「変化と関係」「図形」が重点的な課題であり、図や表を用いた学習を通して、数量や図形の意味を理解し、考え方を説明する力を育てる必要がある。また、平均無回答率も昨年度を上回っており、問題文の理解、解決の見通しを持つ力、最後まで粘り強く取り組む姿勢を育むことが必要である。

質問調査より

「自分にはよいところがありますか」の項目において「当てはまる」と回答する児童の割合が全国・大阪市の平均を上回っている。その反面、「当てはまらない」と答える児童の割合も全国・大阪市の平均を上回っており、二極化が見られる。「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の項目においては、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答する児童の割合が全国・大阪市の平均を上回っている。今後も、友達同士で認め合う活動や自分を表現できる学級づくりを大切にするとともに、一人一人が活躍できる場を設定していく。また、ICT機器の活用に関する項目については、5年生までに受けた授業で「ICT機器を使用している」と回答しているものの、インターネットでの情報収取や資料作成などに苦手意識が見られることから、今後もICT機器の活用場を増やしていくことが必要である。

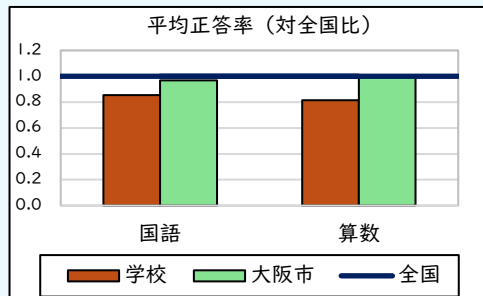
今後の取組（アクションプラン）

今年度は、高学年を中心に非認知能力を育成する実践を進めている。授業、学級活動、学校行事、日常生活の中で、児童が自分で考え、他者と協力し、挑戦することができる機会を設定していく。また、児童の主体的・対話的な深い学びにつながる、各学年の発達段階に応じた「話し合い」の工夫について体育科の研究を軸に取り組んでいく。研究授業を通して校内でめざす力を共有し、協働学習や話し合いの場を増やし、主体性、思考力、協調性、他者理解の力を育み、失敗しても挑戦できる環境や支援体制をつくるとともに、児童自身が頑張った点や工夫した点を振り返ること、粘り強さや自己調整力を高めていく。児童間の互いの考えを尊重した対話となるような「協働的な学び」の充実を図っていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

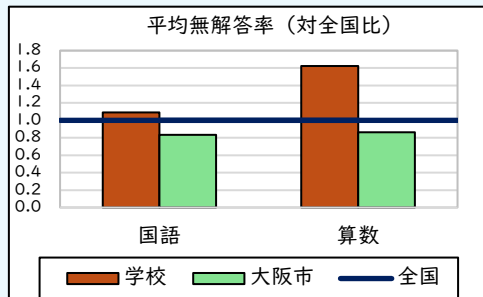
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	52	46
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



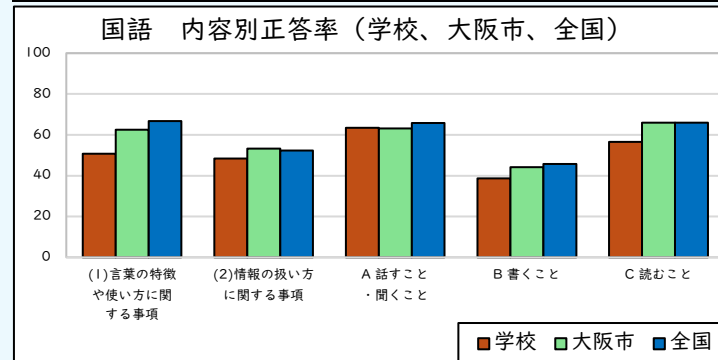
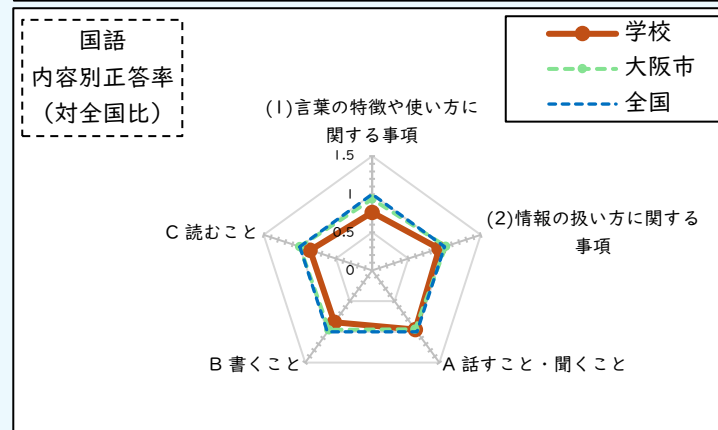
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.7	5.2
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



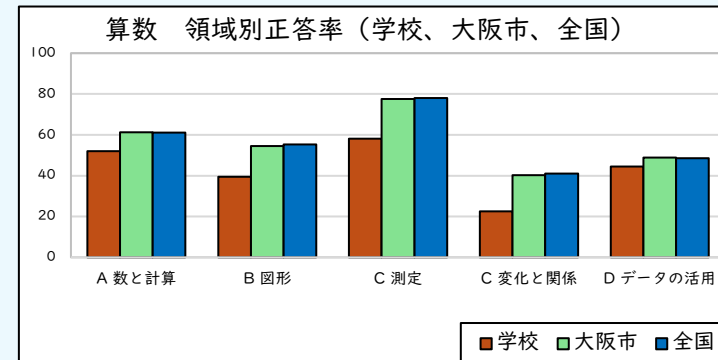
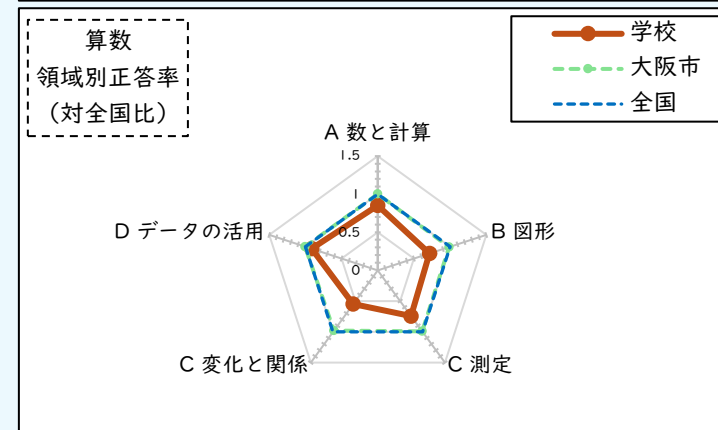
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	50.8	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	48.4	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	63.4	63.1	65.8
B 書くこと	2	38.7	44.2	45.7
C 読むこと	2	56.5	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	52.0	61.2	61.1
B 図形	4	39.5	54.5	55.3
C 測定	1	58.1	77.5	78.1
C 変化と関係	3	22.6	40.3	41.1
D データの活用	4	44.4	48.8	48.6



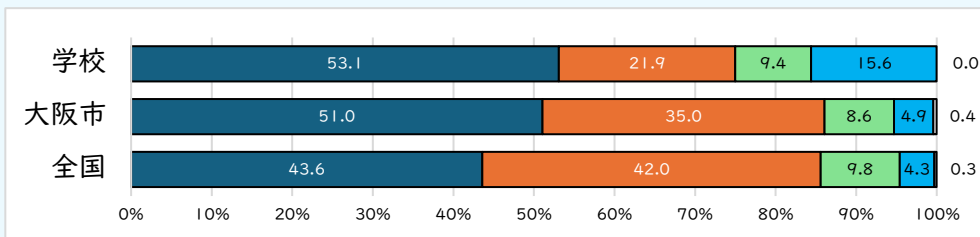
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

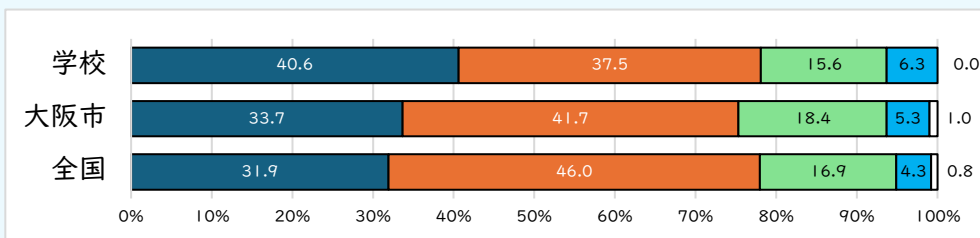
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



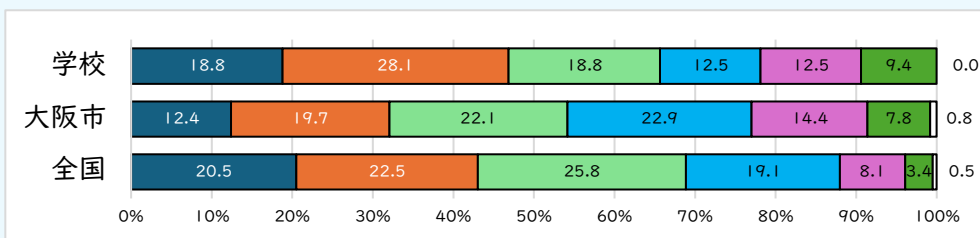
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(16) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



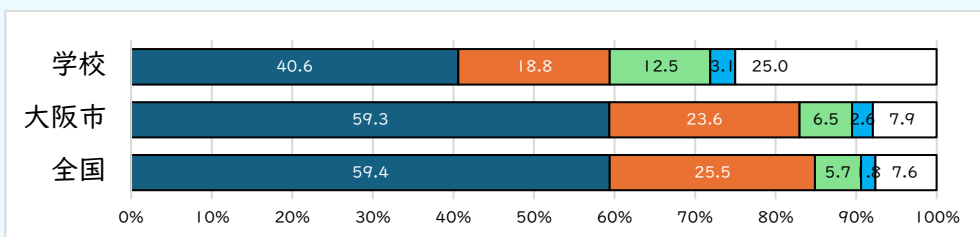
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(35) 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



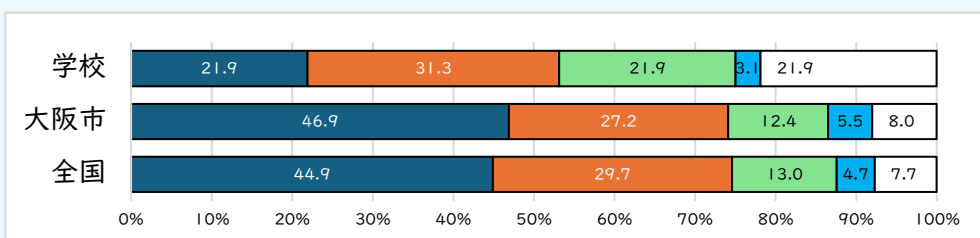
1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満

(36-2) あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(36-4) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

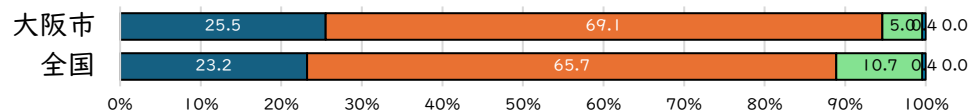
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(7)

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

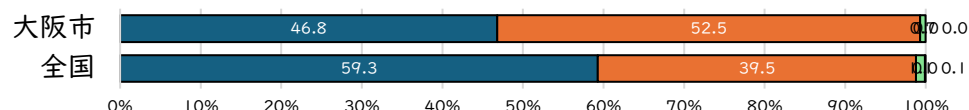


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

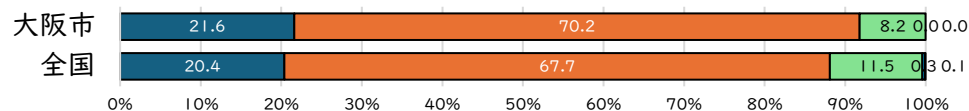


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

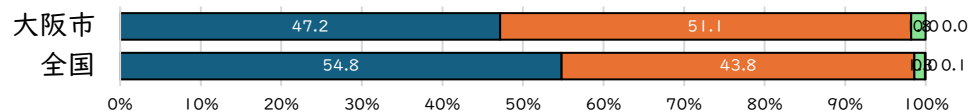


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(69)

ICT機器やインターネットの活用について、目的や場面に応じた適切な使い方や、活用に当たってのルールやマナー（長時間利用防止や情報の取扱いも含む）に関する指導を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

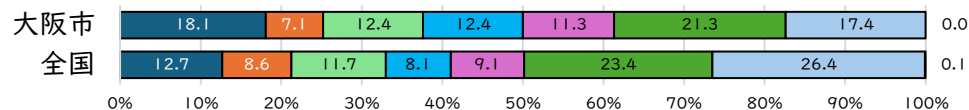


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(70-1)

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（1）不登校児童に対する学習活動等の支援（（70-2）の授業配信を含む）

【学校の回答】 5 月1回未満



1 ほぼ毎日
2 週3回以上
3 週1回以上
4 月1回以上
5 月1回未満
6 活用していない
7 該当する児童がいない